

介護老人保健施設しおさい 医療介護連携室 三上恵巳

功 績	今年度から毎月行っている新食イベントに率先して協力し、通所リハビリテーション利用者の利用増加に繋がった。また、ご利用者満足、栄養科職員の休日出勤、残業削減にも貢献した功績。
推 薦 者	算用子美登里
推 薦 理 由	三上の活躍によって、利用者満足・通所リハビリの利用増しに貢献。さらに、栄養科職員の休日出勤、残業削減に繋がった中心的職員として理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

医療介護連携室の三上は相談員として、日頃から利用者さんの入退所やショートステイの送迎など多くの場面で利用者さんと関わりを持っています。

当施設では今まで毎月様々な食事に関するイベントを企画し、利用者さんからたくさんの笑顔を獲得出来る事を目標としております。

しかし、栄養科では昨年からの職員の退職が続き、食事の手づくりが減っている状況で、利用者さんが毎月楽しみにしている食イベントを継続していけるかを重大な問題と捉え取り組んでおります。

そんな中、三上は新型コロナウイルス感染防止対策でイベント自粛が続き、雰囲気も暗くなりやすい、こんな時だからこそ利用者さんに喜んでいただけるイベントを提供したいと、企画から参加し、屋台イベントを実施出来る事になりました。

三上は屋台の制作、また毎回季節感あふれる屋台の飾りつけ、実際の試作、タイムスケジュールなど多職種を巻き込み、楽しみながら実施しています。

結果、4月は鉄板焼きで粉もん対決を提供、5月はまごころスイーツとしてお茶を点でて季節の和菓子を提供、6月は3種の熱々焼きそばを鉄板で調理し、出来立てを提供し、いつもと違う雰囲気の中で、とても賑やかな、楽しい時間を利用者さん、職員共に過ごすことが出来ています。

また三上は最近、笑顔の減ってきた利用者さんにも目を向けイベントにお誘いし参加されることで表情がとてよく、笑顔があふれたところを写真に撮り、ご家族へ届けることでご家族からはとても驚かれ、また喜ばれております。

これまで食事イベントは栄養科職員が交代で休日出勤、残業をし行ってきましたが、準備から片付けまで皆を巻き込み協力してくれたことで、栄養科の職員は休日出勤が1日減り、パート職員も減らすことができ、6月は休日出勤は1日ありませんでした。

また、相談員という仕事柄利用者さんと接する機会が多いので、利用者さんからの意見をダイレクトに届けてくれたり、他の利用者さんへ広報することで、通所リハビリの利用増しにも貢献してくれております。今年度しおさいの取り組みとして力を入れている食イベントにおいて三上は縁の下の力持ちでもあり多職種を巻き込み楽しんだイベント作りとまた、相談員ならではの視点より利用者さんはもちろん、ご家族への配慮も出来る今必要とする模範的職員です。